

月刊 やちまなこ

2020. 8.15 発行

No.273

8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

まるで梅雨空のような天気が続き、近隣農家の牧草の刈り取りも遅れていたが、つかの間の晴天を逃すまいと、早朝からトラクターが慌ただしく動いて作業をしていた。兎に角、不安定な天候が続きながら8月を迎えたら、気温も一気に上がり、30度越えの気温が数日続いた塘路湖周辺には、コロナウイルス感染に警戒しつつも観光客の姿も徐々に目立つ。そんな状況の下でも夏の塘路の景観はいつもと変わらず、様々な緑の中に湖が輝いている。しばらくすると見慣れない列車が通過していた。豪華観光列車「ロイヤルエクスプレス～北海道クルーズトレイン」の試運転のようで、今後は道内を3泊4日の日程で運行するようだ。

【植物】

夏は湿った場所を好む花や水上に咲く花などの”湿地の花”が多く見られる季節。今年は全体的に開花が遅れ気味でちょっと心配しましたが、8月の中旬を迎え、塘路湖周辺の水辺では湿地の花々が見頃を迎えつつあります。



クサレダマ（塘路湖畔）

鮮やかな黄色が映える夏らしい花。国道脇の土手沿いでは局所的に群落も見られます



エゾイヌゴマ（塘路湖畔）

湿原性の花ですが、塘路湖畔では稀。ヨシなどの陰に隠れてひっそりと咲いています



エゾミソハギ（塘路湖畔）

夏から秋の湿原で抜群の存在感を放つ花。湖岸や国道脇の土手沿いなどで見られます



ナガボノシロワレモコウ（塘路湖畔）
今年は開花がややゆっくりめ。写真の個体もまだ咲き始めて、蕾も多く見られます



ドクゼリ（塘路湖畔）

湿原の夏はこの花を抜きには語れません。華奢ですが、不思議と存在感のある花です



エゾノミズタデ（塘路湖）

この時期の塘路湖で見られる水草の代表格。センター前の水域でたくさん見られます

【昆虫】

7月の下旬頃から夏らしい暑い日が徐々に増え、ようやく昆虫たちの活動が活発になってきました。特にこの時期多くの昆虫たちが集まるのが、塘路湖周辺の水辺。個性的なトンボの仲間やチョウの仲間によく出会えます。



コオニヤンマ（塘路湖畔）

周辺ではあまり見かけない稀なトンボ。湖岸を歩いている時に、運良く出会えました



ホンサナエ（塘路湖畔）

こちらも周辺ではやや稀なトンボ。コサナエかと思ったら、よく見るとホンサナエでした



コムラサキ（塘路湖畔）

湖岸沿いで時々見かけます。ちょうど翅を開いて鮮やかな紫色を見せてくれました



◎森の中のキノコについて学びました

8月1日（土）、シラルトロ湖畔の蝶の森で、キノコについて学ぶ観察会を開催しました。講師は北海道キノコの会の奈良泰世氏で、テーマは森とキノコのつながり。森の中でキノコが果たす役割や、キノコと特定の樹木や花との関係性などについてわかりやすく解説していただきました。

森の中では、大きなベニタケ（写真左下）や、まさに名前のお通りのツリガネタケ（写真右下）をはじめ、様々な色や形のキノコが見つかり、それぞれの特徴について学ぶことができました。普段なかなか聞くことができないキノコの話とあって、参加者の皆さんは興味津々。講師の解説に熱心に耳を傾けていました。

参加者 8名

◎自然と歴史を二本立てで学ぶ観察会を開催

キノコの観察会から一週間後の8月8日(土)、再びシラルトロ湖畔と蝶の森で自然と歴史を学ぶ観察会を開催しました。

今年で4回目となるこのイベントですが、好天に恵まれたのは今回が初めて(去年は雨天中止)。講師は標茶町博物館の高橋学芸員(歴史担当)と当センター職員(自然担当)の二人体制で実施しました。歴史については、高橋学芸員が縄文の住居跡やアイヌの人々が見張り台として使っていたチャシと呼ばれる遺跡などについて解説を行い、自然については、センター職員がこの日見られた動植物について解説を行う他、オニグルミやヤマブドウなど、かつてのアイヌの人々が利用していた植物について、その利用方法なども紹介しながら解説を行いました。かつてこの地で暮らした人々の暮らしぶりや自然との関わり方について、参加者の方たちはそれぞれに思いを馳せていました。参加者7名



9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

秋のキノコ観察会

[日 時] 9月5日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 茅沼蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

秋の植物を見に行こう

[日 時] 9月6日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 7/15(3:56,19:00). 7/31(4:11,18:45). 8/14(4:26,18:26)

～編集後記～

■8月に入り、急に気温が上がり、釧路市中心部では13日、30.4度を記録しました。普段暑さに慣れていない体には負担がかかります。現在、コッタロ湿原へ向かう道路は通行止め(二本松橋手前まで往復可能)となっていて、湖畔沿いにあるサルボ展望台に利用客が増えているようです。日中は気温の高い日がありますので、熱中症対策を忘れずに湿原散策を楽しんでください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料